

ルート検討時の留意点

運行路線と運行日、時間帯、便数のバランス

- (1) 運行路線を長くすると、運行日、時間帯、便数のうちいずれかを減らす必要がある。
運行日、時間帯、便数を増やすためには、運行路線を短くする必要がある。
- (2) 運行路線が長すぎたり、立ち寄り先を増やすと時間がかかり、利用しづらくなる。
(乗り継ぎの検討も必要)

道路幅員・乗降スペース・停留所間隔の確保

- (1) 道路幅員は、5.5m ~ 6m程度は必要となる。
- (2) バス停留所では、通行レーンとは別に停車できるスペースを確保するのが望ましい。
- (3) バス停留所は、300m ~ 400mが一般的である。

一方通行等の交通規制・渋滞の回避

- (1) 一方通行や右折禁止等の交通規制に留意する。
- (2) 渋滞が予想される路線又は交差点は避けるのが望ましい。